

# 1. 評価結果概要表

作成日 2008年4月9日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0372500553		
法人名	社会福祉法人 衣川会		
事業所名	グループホームはごろも		
所在地	〒029-4332 岩手県奥州市衣川区古戸45番地 (電話) 0197-52-3755		
評価機関名	特定非営利活動法人 いわたの保健福祉支援研究会		
所在地	〒020-0021 岩手県盛岡市中央通三丁目7番30号		
訪問調査日	平成20年1月24日	評価確定日	平成20年4月9日

## 【情報提供票より】(19年12月27日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 1月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 5 人, 非常勤 4 人, 常勤換算5.6 人	

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	1 階建て	1 階 ~	階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	無	その他実費負担 円
敷金	有( 円)	有りの場合	償却の有無	有/無
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) 無			
食材料費	朝食	250 円	昼食	300 円
	夕食	350 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要(10月31日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83 歳	最低	76 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	国民健康保険衣川診療所・国民健康保険衣川歯科診療所
---------	---------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当グループホームは、社会福祉法人衣川会が運営する事業所の一つで、ホームに隣接する同法人が運営する「特別養護老人ホーム羽衣荘」ほか、通所、訪問等の介護サービス事業所がある。ホームが継続して取り組んでいるものに「にぎにぎ体操」があり日課に組み込まれている。職員は利用者寄り添いながら、音楽に合わせてリズムをとりながら、利用者と一緒に励ましの声かけをし、明るく楽しく取り組んでいる。ホームは地域にもよく知られ、地域の夏祭りや花火大会、地域の文化祭に参加しながら楽しんでおり、また地域理解、ボランティアの協力体制なども良好である。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価では「少なくとも3ヶ月に1回の介護実施の評価」については、期間に応じて、または状態変化に応じて見直しをしている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理職、職員が分担記述する方法で全職員が取り組んだことが、改善点への気づきの機会となり、評価の意義の理解に結びついている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	地域包括支援センターとの連携、運営推進会議での提案によるボランティアの導入など、職員の方では難しいイベントも実施されるなど、地域連携の良さがうかがえる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族の意向や満足度についての家族アンケートを実施して運営に活かしている。金銭管理も適切に報告している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	積極的に地元行事へ出向き交流の機会を作っている。

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型の確かな質の確保を目指しながら、職員で話し合い「ありのままのあなたに寄り添います」と独自の理念を設定し、個々の利用者が持っている「思い」を引き出すような取り組みをしている。理念は、共有スペースに掲示している。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に実際のケアの場面への浸透と実践に向けた取り組みとして、業務日誌やチェック表等の実践記録をもとに、理念との関わりを意識したカンファレンスやモニタリングに努め役割を明確にしている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	「趣味活動」「昔話」「花見」「芋の子会」等については、職員の対応だけでは難しいことからボランティアの協力を得て実施している。なお、地区の祭りや文化祭などに向き、地域交流に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理職、職員は、自己評価及び外部評価の意義について話し合い、手分けして記述している。自己評価で見出された問題点は全職員で話し合い、計画立案やケアに活かすべく改善への取り組みをすることとしている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議を開催しているが、委員の提案で職員だけではできないサービス提供をボランティアの協力で実現するなど、運営推進会議の機能が発揮されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターから、地域事業所の利用状況に関する情報提供や指導を頂いているが、今後、更に市の担当者で行き来する機会を作り、より良いサービス向上を目指した情報収集や交流を図っていくこととしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者一人ひとりの生活の様子をファイルしたアルバムを作成している。家族面会時に、アルバムを見ながら話し合うことで、暮らしぶりの理解も深まり、信頼関係の構築につながっている。また、定期的な広報の発行や金銭出納について記録、報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケート実施は、家族の希望意見や意向、ホームへの理解等、今後のサービスに反映できる有効な手段となっている。意見箱も設置され情報収集への体制も整えている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまで一回の異動があったが、家族には、広報などで事前にお知らせをしている。利用者の中には、馴染みの職員が見えないことに不安を抱いた方がいたが、異動者の訪問や手紙のやり取りなどを繰り返しながら、自然なかたちで不安感の解消につながっている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月1回の全体(夜間)会議は、研究会、勉強会と並行しながら、利用者の処遇困難なケース、職員の介護技術等の交流の機会となっている。また外部研究会への参加報告を行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交換研修は行っていないが、GHの定例会には参加し、情報交流や同業者との意見交換に努め、サービスの見直しにつなげるように取り組んでいる。	○	法人内の研修は頻繁に行っているが、今後、同業者との体験交流を検討することとしている。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に、利用者、家族からの見学をいただき、本人の納得や了解を前提に、一人暮らしの方、緊急性の高い方、家族の介護力等を考慮したカンファレンスを行い、入所いただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	散歩やドライブにおける利用者の感嘆や感動に耳を傾ける姿勢で取り組んでいる。特に、利用者が関心を寄せ喜ばれるのが節句行事である。行事食の準備に取り組むときの手順や手さばきなどの巧妙さに、驚いたり、学んだり、喜怒哀楽を共にしながら、支え合う関係を築いている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	人生の先輩として敬い、話に耳を傾けることを大切にしている。ホームでは、センター方式を活用するなど、本人の思いや意向の把握に努め、協働する体制が機能している。個別的なケアマニュアルへも転記され活かされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の心身の状態や意向を踏まえた、利用者一人ひとりの介護計画を作成している。職員は朝のミーティングで、利用者に応じた支援内容を確認め合いながら、対応すべき解決課題を共有し、適切にサービスに反映するよう取り組んでいる。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態変化に伴う介護計画の見直しは、本人、家族、必要な関係者との話し合いを基に、実情に即した新たな計画を作成され、家族の同意も得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の希望を取り入れて散歩や理美容、家族一緒のドライブ等々、希望や要望に応えた柔軟な取り組みをしている。なお、外出、通院支援も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への受診支援や体調変化に応じた速やかな連絡体制が確立されており、適切な医療が受けられるよう支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りについて対応出来ない旨家族には説明しているが、当面、母体である特養との連携を活かしながら、適切なサービスが受けられる支援をしていきたいとしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入浴、排泄、トイレ誘導へのさりげない声かけなどは、利用者の誇りやプライドを損ねないよう配慮と対応をしている。個人情報に関する記録の取り扱いについても保管が徹底されている。実際のケアに活かせるよう、プライバシー・入浴に関するマニュアルを現在検討中である。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の健康状態や雰囲気気に気を配りながら、利用者に満足いただける柔軟な配慮と対応をしている。また利用者のペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか確認しながら、希望を活かした支援をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりのペースに配慮しながら、食べこぼしなどにも、さりげない心遣いが見られる。特に、季節食、節句などの行事食は、準備からそれぞれの利用者の経験に基づく力の発揮の場ともなり、思い出話が盛り上がり喜ばれる機会となっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	着脱衣、洗身、洗髪についての不安や羞恥心への配慮がなされ、快適な入浴と清潔保持への支援に努めている。就寝前の入浴希望者の対応については、検討することとしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴や関心、興味を活かしながら、常に成功体験という感覚に結びつくような引き立ての言葉の働きかけをしている。食事の手伝い、畑仕事、掃除、洗濯ものたたみなど、それぞれの役割を持って、達成感や楽しみをつくり出せるよう支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩や買物、ドライブ、季節行事(花見、お祭り、野外炊事)など、利用者の希望に合わせて戸外に出かける支援をしている。外出支援は、利用者の身体機能の維持や気分転換の効用も考えられることから、さらに検討して行きたいとしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関にはセンサーも取り付けられているが、見守りを徹底しながらも、一人ひとりが外に向かう雰囲気職員は心得ており、外へ向かう雰囲気を察知したときは、さりげない声かけをして、同行による安全の配慮をするなど、施錠しないで自由に暮らせる支援に取り組んでいる。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	安全な避難誘導について消防士から助言を頂き、地域防災協力隊の協力の下、法人との合同防災訓練(昼、夜を想定)を年2回実施している。ホーム単独の避難訓練のあり方を検討課題としている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立表は毎週、栄養士(隣接の特養職員)のアドバイスを頂きながら、一人ひとりの状態に応じた支援をしている。食前・食後のうがいや手洗いなど、感染症対策等への体制も確立されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは広く、吹き上げからの採光が適度に注ぎ込み、ゆったりとした流れを感じる。小上がり座敷があり、ソファ、テレビなども配置されている。廊下には、2, 3人掛けの和式の椅子や、図書コーナーなども準備され、利用者が好みの場所で過ごせるような配慮や工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者が思い思いに過ごせるよう、テレビや好みの置物などが配置されている。利用者と家族と一緒に作った飾り物や手芸品なども飾られ、穏やかに過ごせる居室環境となっている。		